

松阪市民病院ビジョン3の策定について

1. ビジョンの位置づけ、期間

松阪市民病院ビジョン3は、これまで運営や経営の改革・改善に取り組んできた松阪市民病院ビジョン（平成22年度～24年度）、松阪市民病院ビジョン2（平成24年度～26年度）に続き策定したビジョンで、松阪市民病院における今後の方向性と目標を掲げたものです。

また、ビジョンの期間は、平成27年度から平成29年度までの3か年とします。

2. 策定経緯等

これまでに策定した松阪市民病院ビジョン、松阪市民病院ビジョン2では、経営改善（経費の節減）や診療組織の見直しなどあらゆる改革・改善に数値目標、実施期限などを明確に設定し、数多くの成果を得てきました。

一方、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる、いわゆる2025年問題が取り上げられる中、診療報酬改定や医療法等の改正で2025年に向けた方向が示され、このことが将来の病院の医療のあり方、運営・経営に大きな影響を与えかねない状況となっています。

これまでに策定したビジョンでは、将来の人口動態や病院機能などの分析はそれほど必要がなかったこともあり、主に当院の運営や経営の改革・改善を主体に策定し成果も得てきましたが、ビジョン3では、これらを踏まえ、今後の方向性やあり方を見据えた対策を講じるため、人口動態、当院の地域におけるポジション等についても詳細に検討し策定することとしました。

3. 松阪市民病院ビジョン3

別紙による